

知の宝！古本市～リユース・ブックフェア～を開催

附属図書館では、弘前大学総合文化祭期間中（10月27日～28日）に、「知の宝！古本市～リユース・ブックフェア」を附属図書館1階職員玄関前で開催しました。

この古本市は、図書館で不用となった図書を無料で差し上げ、再利用（リユース）していただく企画であり、平成19年から弘前大学総合文化祭期間中に実施しているものです。

会場には、多くの学生や職員、一般市民が来場し、興味のある分野の資料を次々と持ち帰っていました。今年は例年より一日少ない二日間の開催



となりましたが、約2,000冊の資料を新しい利用者に利用していただくことになり、大盛況の内に終了しました。

図書館のグループ紹介

企画管理グループ

図書館のグループ紹介第4回目は、企画管理グループについて紹介させていただきます。

企画管理グループは、文京町キャンパスにある附属図書館本館一階の事務室で、企画管理担当2名、出版会担当3名、資料館担当1名で業務を行っています。それでは、企画管理担当・出版会担当・資料館担当それぞれの主な業務についてご紹介します。

企画管理担当の主な業務は、附属図書館の予算や経理に関すること、会議や行事に関すること、いわば「附属図書館の縁の下での力持ち」といったところでしょうか。学生のみなさんが身近に感じるイベントとしましては、弘前大学学生『言語力』大賞コンテストがあります。毎年10月27日の「文字・活字文化の日」に発表をあわせて作品を募集しています。大賞作品には、豪華10万円の図書カードが贈られます！学生のみなさん、ぜひ来年の『言語力』大賞コンテストへの参加をお待ちしています。

続いては出版会です。学生のみなさんが授業で使っているテキストや参考書の中に、「弘前大学出版会」と書かれたものはありませんか？

出版会担当は、持ち込まれた企画の検討、原稿

のチェック、編集作業、出版された本の宣伝、在庫管理など、「本の制作・販売」に関わる業務を行っています。

出版会は平成16年に設立され、平成24年10月末時点で123冊の書籍を出版しています。これらはすべて図書館にありますし、弘大生協で購入することもできます（一部非売品もありますが）。この中には教員はもちろん、教員指導のもと学生が執筆した書籍もあり、また学生が表紙デザインをしている書籍も数多くあります。

・・・もしかしたら、みなさんの研究成果も書籍として出版されるかもしれません！

最後に資料館を紹介します。今年10月にオープンしたばかりの資料館は、「弘前大学 過去から未来へ」をテーマに前身各校の歴史をはじめ新制大学となってからの約60年間のあゆみ、各学部・研究科毎にコーナーを設けての歴史や研究成果の紹介、海外の大学との交流の歴史、世界的な業績を挙げられた方の紹介や歴代の弘前大学ねふた絵を写真と3D映像で紹介するコーナーなどを設けています。入館料は無料ですので、みなさんの来館をお待ちしています。

（企画管理グループ係長 宮川 順子）